

華胥の夢博



角建具製作所
角 義行さん



華胥の夢博賞
(建具部門)

今回の夢追い人は、木工まつり期間中に開かれた三つの展示会で、入賞された四組の方に注目した。華胥の夢博、第三十九回大川優良建具展示会、全国高等学校校インテリアデザイン展である。

涼やかな夏の風情を
贅沢に楽しむ作品

涼やかな夏障子である。琵琶湖のほとりの高級葦、近江葦が使用されている。京都などの古来からの建築物には、この近江葦が用いられてきた。全体と、葦の色・つや・揃った粒が調和している。何とも言えない質感を醸し出している。

この障子の他の特長について、角さんは「帯板の中に八種類の刀の鐔がはめ込まれていること」と語る。鐔は、発注した方の趣味。この帯板の交換でいろいろな鐔は楽しめる。涼やかな夏の風情を贅沢に楽しむ作品である。

展示会では、毎回の様に高い評価を得ている角さんであるが、組子をはじめとする建具の伝統的な技法を活かしつつも、独自のデザインや発想を作品に盛り込んでいる。

平成三年には福岡県版「現代の名工」に選ばれている。

☆夢追い人・会報平成十九年四月号参照
<http://www.okawa-ccl.or.jp/yumeoibito/yumeindex.html>

(株)ヒラシマの製作スタッフ



木原さん 池松さん 江上さん

カッコいい家具を目指しました。

「国内材を使った、カッコいい家具を目指しました。」と社長の平島真治さんは語る。

受賞作品は、だぶついている国内材、つまり杉材を使った、環境に良いエコな家具になっている。

これまで、杉は柔らかすぎて、傷がはいりやすく、家具造りには向かないとされてきたが、(株)ヒラシマが持っている、様々な表面加工の技術が今回それを可能にした。

もちろん杉材の家具造りは挑戦であった。「今回の受賞は社員みんなにとって励みとなりました。エコを目指す、こう

華胥の夢博賞
(家具部門)



した方向性が間違っていないと確認できたことはとても良かったと思います。」
「今後は、ベトナムや中国の倒木材、そして国内材を使った、もっとカッコいい、エコな家具を作り続けていきたいですね。」と平島さんは話している。

(株)ヒラシマは、二〇〇一年山梨で開かれた「世界の木クラフト展」で農林水産大臣賞を受賞している。

☆夢追い人・平成十七年二月月号会報参照
<http://www.okawa-ccl.or.jp/yumeoibito/yumeindex.html>

第三十九回 大川優良建具展示会



仁田原建具製作所
仁田原 進一さん

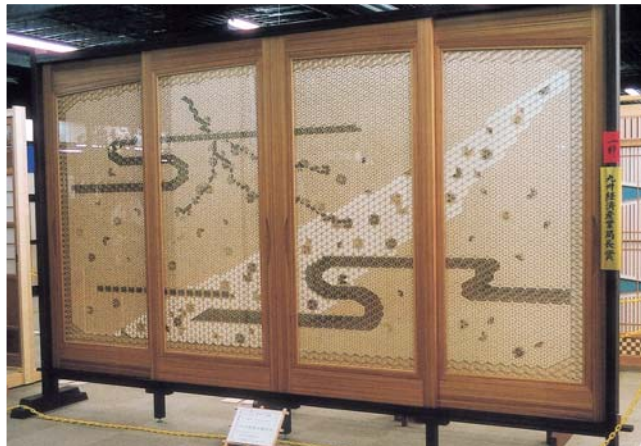
上は限りないと思います。
一生勉強です。

仁田原進一さんは「父から継承してきた技術が確かなものとして評価され、嬉しく思っています。」と話す。

受賞作品は、四枚の建具を一つの模様としてデザインされている。「流れ」をテーマとする流麗な作品。天の川の流れの背景に雲が流れている。そして、サクらの花びらが風に舞っている。

ただ、展示の際には、あえて説明を加えなかった。見る人の想像力を妨げないためだ。「鋸の入れ方が難しかったですね。直線、曲線を出すための間隔の数字的配列を見いだすのに苦労しましたね。試行錯誤がありました。なかなか模倣出来

九州経済産業局長賞
(最高賞)



ないと思いますよ。」

進一さんは今後の抱負として、「上は限りないと思います。一生勉強です。受け継いだ技術を更に高めていきたいと思っています。」と語っている。

☆夢追い人・会報平成十一年十一月号参照

<http://www.okawa-ci.or.jp/>

yumeoitito/yumeindex.html

第22回 若いユニークな感性が光った 全国高等学校インテリアデザイン展



文部科学大臣賞

鹿児島県立川内商工高等学校

大原 友紀子さん
「Move Desk」

放き風通しを良くしています。靴を菱形の箱に収納出来るのはおもしろいかな、と想っています。」と嬉しそうに感想を述べていた。

最優秀学校賞は東京都立工芸高校。二位、三位に入賞した。

若いユニークな感性が光るコンテストになっていた。



入賞

大川樟風高校 石橋 香織さん
「Face of a Place」